

平成25年度 事業報告

1 概要

我が国の高齢者人口は大きく増加している。総務省の推計によれば平成25年9月15日付の65歳以上人口は3,186万人であり、日本における全人口の25%となり、これは人口・割合と共に過去最高の数値となった。

こうした情勢下においてシルバー人材センターは、労働意欲を持つ高齢者の受け皿として、社会的な必要性が益々重みを増してきた。

しかし残念ながら、墨田区シルバー人材センターの会員数は前年度に引き続き減少傾向である。年度末現在で1,895人となり、前年度末に比べて24人減である。また会員の就業率も前年度の73.6%から72.5%となり1.1%減という結果になった。

また事業面においても、緊急雇用対策創出事業（押上・業平地区自転車整理等業務）の一部が終了したことなどの理由により、事業実績は減少している。

本年度の事業実績は、公共事業が前年度比で7.8%減、民間事業が1.1%増となり、全体では3.8%の実績減となった。事業収益額で30,055千円の減収である。

しかしこの厳しい結果の中で、地道な就業開拓、関係各種機関の協力により、民間事業は受注件数133件増、事業実績4,013千円増という成果をあげることができた。それにともない、事業における公共事業と民間事業の割合は公共が52.4%、民間が47.6%となり、昨年度に比較して民間事業の割合が増加した。今後も実績を拡大していくために、民間事業における就業開拓にはこれからも積極的に取り組む事が求められる。

シルバー人材センターは公益社団法人として、高齢者に対して仕事を提供し、もって就業機会の増大を図り、活力ある地域社会作りに寄与していかねばならない。それを果たすために今後はより一層、高齢者に対する会員募集の働きかけと、そして就業機会拡大の積み重ねを続ける必要があるだろう。

2 会員状況・事業実績等は後記のとおり。

3 諸会議の開催

(1) 定期総会	1回
(2) 臨時理事会	1回
(3) 理事会	11回
(4) 地域班長会議	4回
(5) 安全就業対策会議	1回
(6) 入会説明会	12回
(7) 総務部会	4回
(8) 事業部会	3回
(9) 広報部会	14回
(10) 合同部会（総務部会・事業部会）	2回

4 事業の実施内容

(1) 普及啓発活動の推進

- ア 会員広報誌として「シルバーすみだ」を年 4 回発行した。
- イ 区のお知らせ、区政概要、私の便利帳等の区刊行物を積極的に活用し、事業の普及啓発に努めた。
- ウ すみだ生涯学習センター情報誌「みらい」に広告を掲載し、仕事の受注拡大を図った。
- エ 区内循環バス内に広告を掲出し、事業の普及啓発に努めた。
- オ 10 月を広報活動強調月間に設定し、次の事業を実施した。
 - ・ 第 38 回すみだまつりに参加し、事業の普及啓発に努めた。
 - ・ 区内商店街や大型スーパー店等で啓発物資を配布した。
 - ・ すみだ消費生活展に参加し、就業相談を実施した。
- カ リーフレットや啓発物資を作成し配布した。
- キ インターネットのホームページにより、シルバー人材センターの紹介等を行った。
- ク 平成 25 年 10 月 16 日～20 日にすみだ生涯学習センターにおいて、老人クラブ連合会主催の作品展で会員の作品を展示した。

(2) 就業機会拡大のための事業、研究

- ア 就業機会拡大のための技術講習の一環として、東京しごと財団で行われる研修に会員が参加して、技能の向上を図った。
- イ 民間事業の受注拡大のため、就業開拓員が積極的に P R 活動を行った。

(3) 会員・役員研修

- ・ 第一ブロック（墨東五区）シルバー共催

ア 会長・副会長（墨田区）	1 日	2 人
イ 理事研修（葛飾区）	1 日	4 人
ウ 班長会議（江戸川区）	1 日	10 人
エ 安全管理研究会（墨田区）	1 日	2 人
- ・ 墨田区シルバー主催

ア パソコン研修	80 日	1,833 人
イ スキルアップ研修（接遇研修）	2 日	63 人
- ・ 東京しごと財団主催

ア 会長・副会長研修	1 日	2 人
イ 監事研修	1 日	2 人
ウ 就業支援講習（パソコン研修）	3 日	1 人
エ 職域拡大技能講習(家事援助研修)	4 日	1 人
- ・ 業務別懇談会

ア 押上駅前自転車駐車場業務会議	7日	134人
イ スカイツリー周辺美化清掃会議	1日	19人
ウ 中小企業センター立体駐車場管理 全体会議	4日	39人

・ 職員研修

第一ブロック（墨東五区）共同研修の開催及び財団主催の合同研修への参加等により職員の資質向上を図った。

(4) 相談業務

- ・ 就業相談・発注者相談は、その都度事務所において実施した。また、区のイベント等でも高齢者の就業相談を行った。

(5) 安全対策

- ・ 安全管理委員・安全対策推進員・安全就業推進員合同による安全就業対策会議を開催し、安全就業基準の周知徹底を図るため、安全就業推進計画を策定した。
- ・ 7月を安全就業強化月間に定め、安全就業に関するチラシと啓発物資を配布した。
- ・ 安全管理委員等による安全具の整備・点検及び実態把握のための、就業現場の安全パトロールを6回（計17ヶ所）実施した。
- ・ 安全就業強化月間の際、自転車修理を得意とするセンター会員2名により、自転車の安全点検を実施した。
- ・ 「シルバーすみだ」に事故防止及び健康管理について記事を掲載した。
- ・ 安全講習会への参加及び第一ブロック共同で安全管理研究会を開催し、事故原因の分析及び再発防止対策等を検討した。
- ・ 仕事別従事会員等において、就業中、就業途上及び帰宅途上の事故防止について呼びかけた。
- ・ 危機管理計画を検討した。
- ・ 会員の自転車事故防止のため、自転車安全運転講習会を向島警察署の協力のもと、当センター駐車場で実施した。
- ・ 会員の健康維持のため、事務局に血圧計を設置した。
- ・ 熱中症対策のために、就業会員にマジクールフィットを配布した。

(6) 健康増進事業の推進

・ カラオケ教室	12回	560人
・ ウクレレ教室	12回	205人
・ 健康体操教室	10回	189人

(7) 社会奉仕活動

第38回すみだまつり、すみだボランティアまつり、東京大マラソン、墨堤さくらまつりにボランティアとして参加し、社会奉仕活動を実施した。